

授業科目	*キリスト教と西南女学院のあゆみ				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	NT10103J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	浅野 嘉延、神崎 明坤、金谷 めぐみ、東 彩子							
授業概要	この授業は、西南女学院の歴史を知り、創設者をはじめ主要な宣教師たちの働きや精神を学ぶことから、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深め、「西南女学院生」としての自己形成を深めることを目的とします。日本におけるキリスト教に基づく女子教育について概観した上で、各回では主に、西南女学院の発展のために主要な働きを担った人物を取り上げ、その人生や信仰・思想を学ぶことにより、受講生が西南女学院で学ぶ意義を発見していきます。							
学生が達成すべき行動目標	1.キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる。 2.西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。 3.設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	0	80	0	100	
知識・理解 (DP1-1)					80		80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			20				20	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルに加え、設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。				キリスト教に基づく女子教育の意義を理解した上で、西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション キリスト教に基づく女子教育とは 担当:浅野嘉延・東彩子			講義		授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授		30

			業外で調べたこと等をノートにまとめる。	
2	建学の精神「感恩奉仕」と西南女学院 担当:神崎 明坤	講義	同上	30
3	WMU 総主事キャスリーン・マロリーの生涯 担当:東彩子	講義	同上	30
4	西南女学院とキリスト教音楽 担当:金谷めぐみ	講義	同上	30
5	危機の時代の救済者、吉田敬太郎の信仰と生涯 外部講師:永町友恵	講義	同上	30
6	西南女学院設立を現実とする為に戦った クラーク夫妻の信仰と生涯 外部講師:Russ Borg	講義	同上	30
7	西南女学院創設者J. H. ロウの偉業 外部講師:Russ Borg	講義	同上	30
8	西南女学院第二代院長 M.L.ボールデン夫人の日本 での働き 外部講師:Russ Borg	講義	同上	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし			
テキスト	配布プリント			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	W.M.ギャロット『要』(西南女学院創立 50 周年記念) 『西南女学院 70 周年史』 『丘の上の灯:原松太「自叙伝」からの抜粋』(西南女学院創立 90 周年記念) 湊晶子『今、あえて何故女子教育か』(2009) Mary Neal Clarke: Letters from Lucile ~life and letters of Lucile Daniel Clarke(2005) Ussery, A.W.,& Hunt Alma: The Story of Kathleen Mallory(1956)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で紹介される文献やインターネットのサイトにあたり、自ら学びを深めるようにしてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	1.クラスポートフォリオ(8回×10点) 2.レポート(20点)			

